

茶源郷未来型交流のまちづくり調査研究事業

犬打峠トンネルが開通したら 京都府南部がこう変わる

平成28年12月

和 東 町

目次

1 京都府南部に新たな交流の輪が広がる	4
(1) 観光・交流が広がる	5
(2) 茶業の付加価値が高まる	10
(3) 物流が変わる	14
2 京都府南部の働き方や暮らし方が変わる	18
(1) 雇用の場が広がる	19
(2) 公共交通が増える	23
(3) 暮らしの安心安全が高まる	25
3 京都府南部の一体感が生まれる	26
(1) 学研都市の機能の拡大	27
(2) 南部の市町村のまちづくりビジョンとの整合	28
4 資料編	29

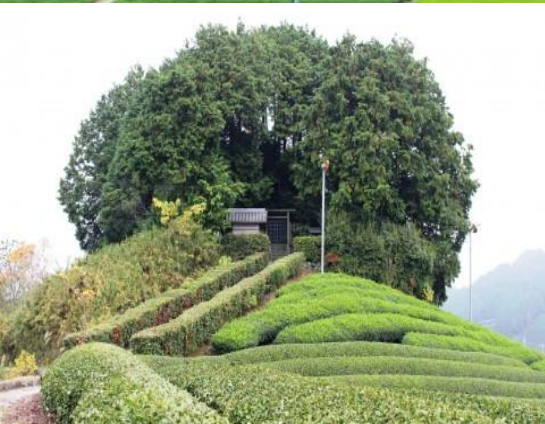


「日本遺産」に認定された茶畑景観

茶源郷の世界へ
ようこそ！



犬打峠の
トンネルを抜けると
そこは
皐月の陽光に茶畑が
眩しく輝く
茶源郷の世界だった。



相楽東部・・・

四季折々に見せる

美しくも懐かしい

故郷への誘い。

相楽東部逍遙記！

青い目の茶娘（和東町）



満開の桜と茶畑（和東町）



茶摘み体験は大人気（和東町）



天然温泉いこいの館（笠置町）



雲海と御来光（笠置町）



初夏の陽光を浴びる茶畑（南山城村）

高山ダム周辺は桜シーズン（南山城村）



夏の木津川（笠置町）



貴重な文化財磨崖仏群（笠置町）



農産物直売所（南山城村）



「京都府南部」という場合の範囲

乙訓

(向日市、
長岡京市、
大山崎町)

この資料で京都府南部という場合、京都府山城地域のうち、乙訓を除く、山城中部と相楽の範囲を言います。

京都府南部

山城中部

(宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市
宇治田原町、井手町、久御山町)

相楽西部

(木津川市、精華町)

相楽東部

(和束町、
笠置町、
南山城村)

1 京都府南部に新たな交流の輪が広がる

新名神の開通と併せて犬打峠トンネルの開通によって、京都南部地域において新しい循環が生まれることが期待される。

特に、相楽東部にとって、犬打峠トンネルの開通は新名神高速道路・宇治田原インター及び城陽インターの開設などの国土幹線と直接つながるインフラ整備であり、広域的なアクセシビリティは大きく向上することになる。

これまで分断を余儀なくされていた相楽東部と京都、宇治・城陽地域が直接結ばれることに加え、三重県方面からの物流が相楽東部に入り込むことが期待される。

新しい交流経済循環図



(1) 観光・交流が広がる

京都府南部に広がる「お茶の京都」

「お茶の京都」の展開によって、茶生産地域を支える産業振興と新たな観光、地域交流の推進

- 宇治茶は、800年の歴史を持つ日本を代表するブランドであり、山城地域の基幹産業である
- 日本緑茶発祥の地域である
- お茶にかかわる歴史的な史跡や行事、習慣が多く残る
- 宇治茶の資源(歴史、文化、茶畑、産業、人、施設など)が多く存在している
- 緑茶文化を活かした地域振興の展開が期待される

「お茶の京都」
宇治茶の郷づくり・お茶の
魅力を地域で発信する！

宇治市限定の
これまでの観光



「お茶の京都」魅力の再発見
ほんまもんの宇治茶イベントなど
にぎわいを創出

「宇治茶かおり回廊」整備の推進
宇治茶の世界文化遺産登録をめざした
シンポジウム開催や積極的な情報発信

農村再生運動の推進
高齢化対策としての「命の里」*づくり
農家民宿や地元農産物の特産化



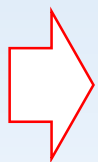
見るだけの観光から体験型観光へ

インバウンド観光、教育観光、体験型民泊などの需要が増え、特に、地元と参加者が自らが行動メニューを考える「着地型観光」が期待される。(例)宇治平等院、宇治田原永谷宗円生家⇒(つながる)⇒和東茶畑景観、海住山寺、浄瑠璃寺、笠置山、南山城村の高山ダム・道の駅周辺など。



「着地型・体験観光」
体験、参加型観光へのもてなし！

見るだけの観光から



「テーマごとの観光」の推進
観光客のニーズ(歴史体験、ものづくり
見学など)のテーマごとに
対応した観光

「やましろの歴史・文化を活かす」
口コミ情報の活用や見どころ・イベント
の情報誌やITの活用を進める

「就農体験などの体験型観光」
インバウンド観光に対応した
就農体験などの体験型観光



参考資料：京都府山城地域振興計画

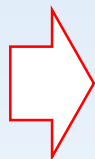
スポーツ観光が広がる

- マウンテンバイクパーク等のスポーツ観光の拠点を活用
- 木津川カヌー・ボート・サイクリングロードとの連携
- マウンテンバイク競技大会の定期的な招致開催



スポーツ観光の振興！

スポーツ観光が
求められている



「茶回廊ヒルクライムなどの振興
宇治木屋線犬打峠をコースとした
茶の道ヒルクライム競技の振興

「茶いくるライン※を自転車で巡る」
宇治茶かおり回廊・茶源郷を巡る
自転車観光の振興

「相楽東部でスポーツ振興」
木津川水辺スポーツと自転車での
スポーツ観光を推進



※茶いくるライン：平成28年度から新たに整備している
サイクリングロード「京都やましろ茶いくるライン」

犬打峠トンネル化の効果

指標	現状(H27)	目標(H32)	算出方法
山城地域における観光入込客数	1,347万人	1,730万人	現状は平成27年観光入込客数及び観光消費額一覧(京都府)、目標は『山城地域振興計画』。
山城地域における観光消費額	198億円	255億円	平成27年観光入込客数及び観光消費額一覧(京都府)より1人当たり観光消費額を求め、算出。

(参考)近隣都市の観光入込客数

◇宇治市:560万人(H27)

◇京都市:5,684万人(H27) うち宿泊客1,362万人、外国人316万人、修学旅行109万人

◇奈良市:1,414万人 うち修学旅行90万人)

【バックデータ】 観光消費額の推計

乙訓・山城地域 観光入込客数及び観光消費額(H27/H26)

(単位：人、千円、%)

市町村名	観光入込客数				観光消費額			
	27年	26年	増減	対前年比	27年	26年	増減	対前年比
向日市	324,699	259,170	65,529	125.3	99,346	87,703	11,643	113.3
長岡京市	1,215,951	1,256,806	△ 40,855	96.7	532,991	546,520	△ 13,529	97.5
大山崎町	482,827	447,342	35,485	107.9	128,326	109,350	18,976	117
宇治市	5,598,011	5,201,764	396,247	107.6	10,967,393	9,070,386	1,897,007	120.9
城陽市	1,030,912	1,020,274	10,638	101	1,707,034	1,826,638	△ 119,604	93.5
久御山町	60,042	51,837	8,205	115.8	6,461	0	6,461	0
八幡市	1,819,463	1,829,850	△ 10,387	99.4	503,981	453,623	50,358	111.1
京田辺市	205,745	206,992	△ 1,247	99.4	662,327	652,915	9,412	101.4
井手町	327,258	352,021	△ 24,763	93	102,461	92,437	10,024	110.8
宇治田原町	125,510	121,559	3,951	103.3	117,889	125,042	△ 7,153	94.3
木津川市	998,310	943,470	54,840	105.8	2,213,696	2,141,258	72,438	103.4
笠置町	251,124	243,276	7,848	103.2	835,641	870,065	△ 34,424	96
和束町	81,783	75,571	6,212	108.2	111,076	102,812	8,264	108
精華町	645,930	699,301	△ 53,371	92.4	245,810	236,478	9,332	103.9
南山城村	301,783	314,454	△ 12,671	96	1,598,875	1,536,270	62,605	104.1
小計	13,469,348	13,023,687	445,661	103%	19,833,307	17,851,497	1,981,810	111%

H27観光入込客数

H27観光消費額

H27観光消費額/H27観光入込客数＝

1,472円 一人当消費額

目標消費額＝一人当消費額×1730万人

255億円 H32観光消費額

(2) 茶業の付加価値が高まる

宇治茶の販売促進につながる

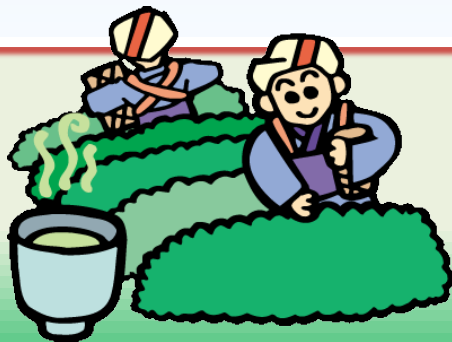
茶生産・加工・流通における運搬時間とコストの低減によって、仕上げ加工や卸売、直販を含めた小売においても、付加価値が高まり、宇治茶全体の販売促進につながることを期待される。

茶業のリノベーションの実現

大学等関係機関との連携により、茶などの地場製品を活かした商品開発、現在の流通小売に耐えうる生産・加工・販売の仕組みを構築し、これら新しい取組を通じた雇用機会の拡大が期待される。

和東茶のブランディング企業の設立を支援

さらには、和東茶の生産から流通までを一体的に行う和東茶のブランディング企業の設立を支援し、海外への販路拡大、健康・ライフサイエンス関連業界等との連携などに取り組みます。



手もみ茶



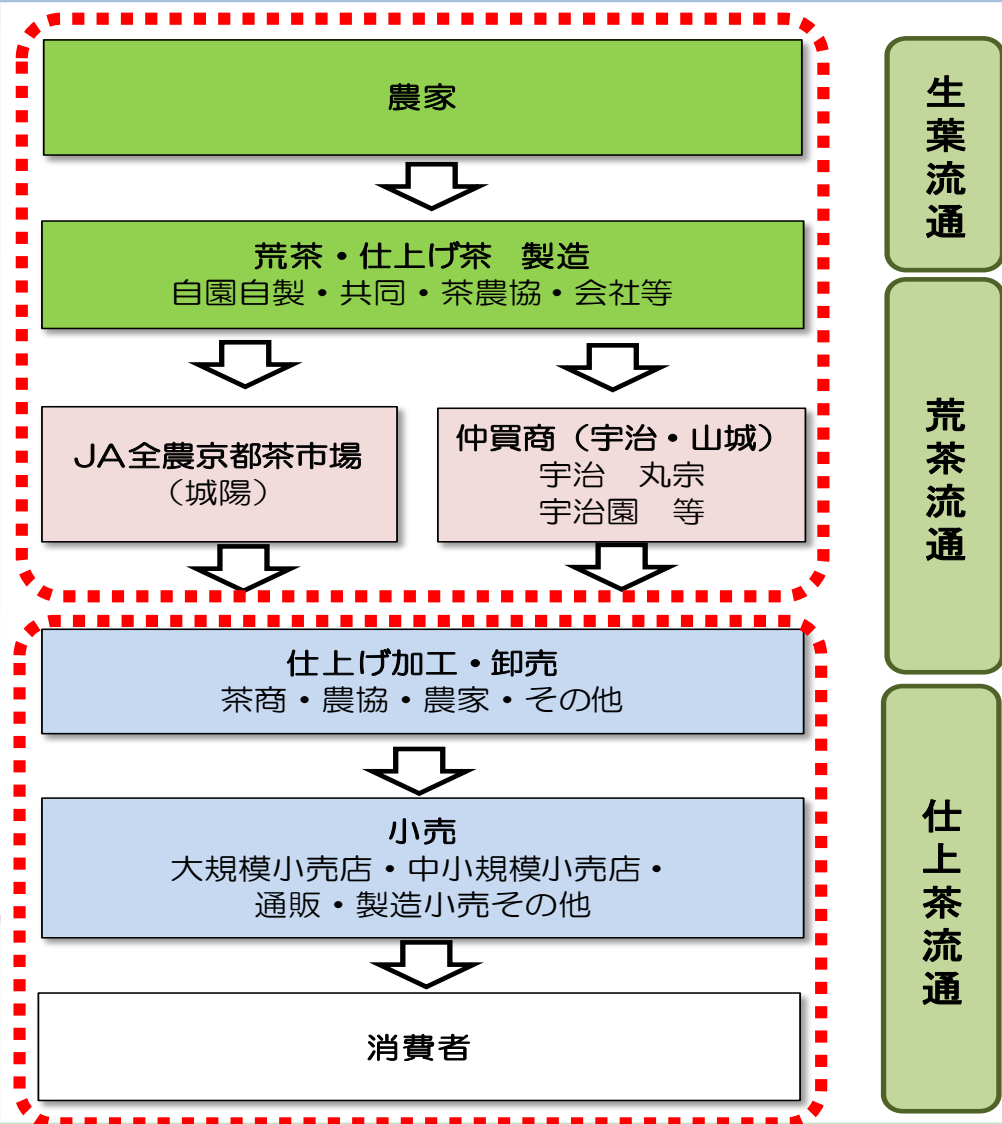
茶の流通の概要

**荒茶の付加価値の向上
～市場への時間短縮～**

宇治茶の生産を担う相楽東部から仲買商、市場、卸売、小売への時間短縮によって、荒茶の付加価値の向上が期待される。

宇治田原町等に立地する仲買商などとの直接取引において、大幅な運搬コストの削減が見込まれる。

JA全農京都茶市場においても、煎茶一番茶の単価が日を追うごとに下がっている現状から、時間短縮による付加価値の向上が期待される。



犬打峠トンネル化の効果

指標	効果予測	算出方法
茶業のリノベーションを通じて新たに開発される商品数	60品目から 90品目に増加	和束町総合戦略より
煎茶一番茶の市場出荷が 1回分早くなることによる単価 への影響※	20～30%アップ	JA全農京都茶市場にヒアリングし、 算出



※現在の茶市場の状況にもとづく算出であって、今後、犬打峠トンネル化にともなって市場開催の頻度が増すなどの変化も期待される。

【バックデータ】煎茶1番茶の落札価格の状況

2016年4月実績

JA全農京都 茶業市場課資料より作成

回	日付	最高単価	最低単価	平均単価	数量(kg)	点数
第1回	2016/4/20	160,041	9,055	17,283	391	47
第2回	2016/4/23	23,699	4,800	10,028	897	87
第3回	2016/4/26	17,666	4,273	7,906	2,800	160
第4回	2016/4/28	18,000	2,500	6,527	5,675	225
第5回	2016/4/30	12,890	2,500	5,098	7,813	208



前回の出荷に間に合えば※...

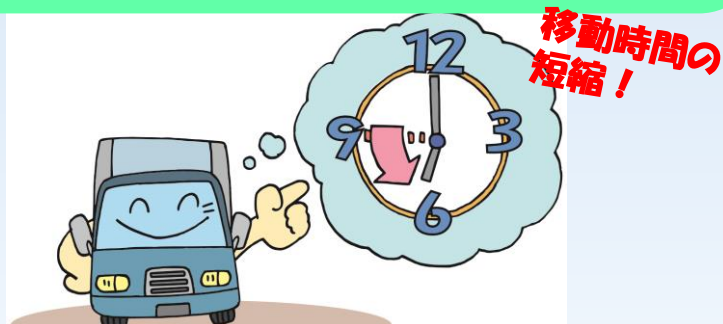
	最高単価	最低単価	平均単価
第2回が→第1回に間に合えば	6.75倍	1.89倍	1.72倍
第3回が→第2回に間に合えば	1.34倍	1.12倍	1.27倍
第4回が→第3回に間に合えば	0.98倍	1.71倍	1.21倍
第5回が→第4回に間に合えば	1.40倍	1.00倍	1.28倍

※現在の茶市場の状況にもとづく算出であって、今後、犬打峠トンネル化にともなって市場開催の頻度が増すなどの変化も期待される。

(3) 物流が変わる

◇移動、運搬時間の短縮

犬打峠トンネルの開通によって、国道163号、国道307号、国道24号などの幹線道路間のネットワークが新たに形成され移動時間が短縮される。



◇新たな物流の動脈が形成

新名神、犬打峠トンネルの開通によって、国土幹線、地域幹線に新たな物流の動脈が形成され、産業、暮らし、防災などに大きく寄与する。



◇新たな物流基地の形成

和東町をはじめとして相楽東部に新たな物流基地の形成が期待される。

流通基地ができる!



移動が快適になった!

～新たな商業施設の進出の考え方～

- 宇治木屋線の交通量の増加が見込める
- 国道163号～24号～宇治木屋線間の物流(交通量)の変化を推計(16P参照)
- 商業施設の立地環境は、郊外ロードサイド(沿道)型として道の駅(お茶の駅)やコンビニ等の進出を促す

◇新たな商業進出

交通量の増加によって宇治木屋線沿線に新たな商業施設の進出が期待される。

ロードサイド型商業施設の進出において好条件を有する立地か所として、ポイント3か所(下図)設定。

◇三重県からの流入増加

犬打峠トンネルが開通すると、三重方面から宇治、京都方面が近くなることにより、国道163号からの交通流入の増加が期待される。



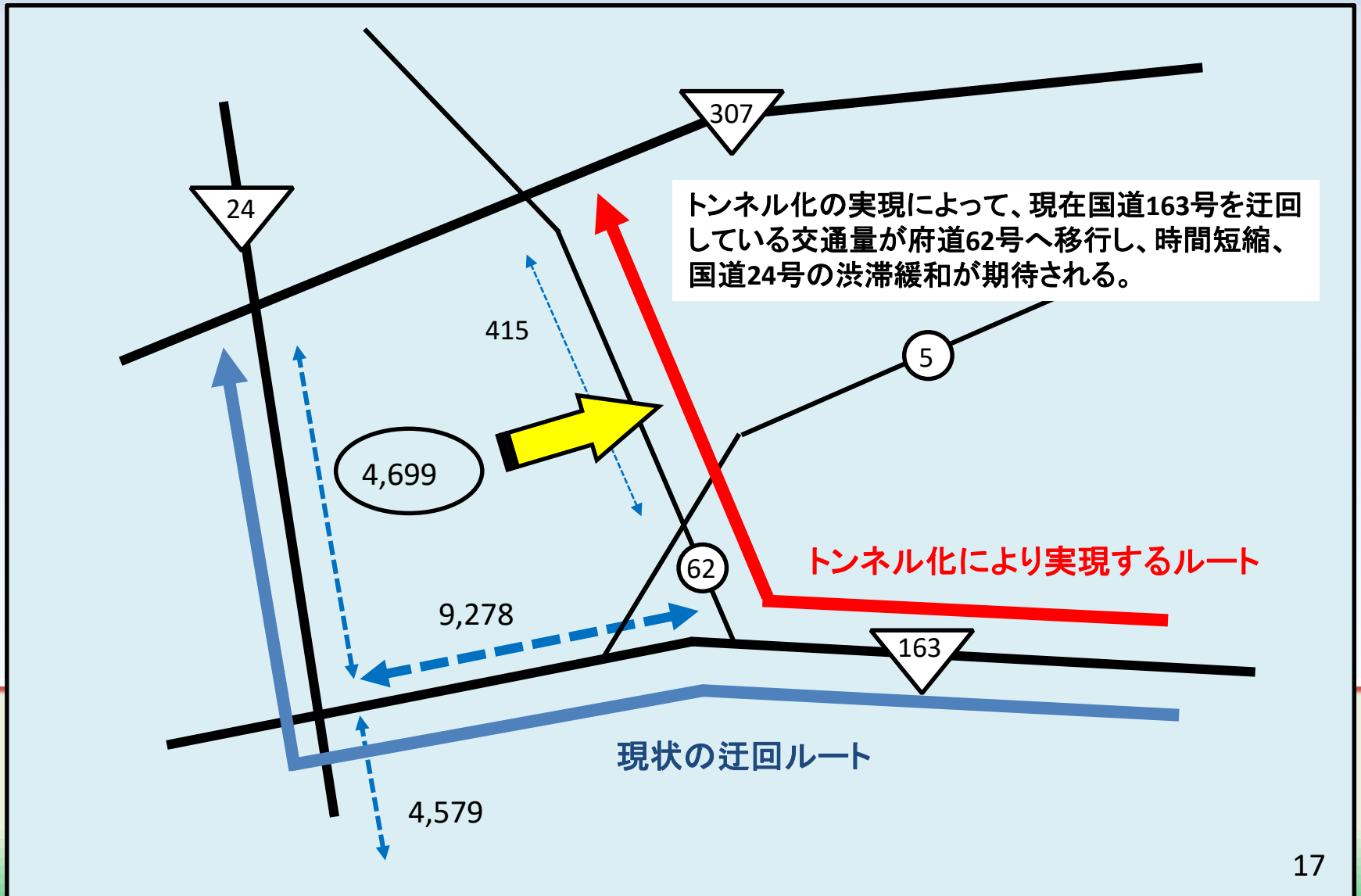
便利な休憩ポイント!



犬打峠トンネル化の効果

指標	効果予測	算出方法
国道163号から宇治木屋線を経由して城陽等の北部へ向かう交通量(時間短縮と国道24号の渋滞緩和)	昼間12時間 上下4700台に近い 交通量 (現状の10倍あまり)	H22道路交通センサスの昼間12時間の上下合計から算出。宇治木屋線～一般国道24号間を通る一般国道163号の交通量(9,278)のうち、一般国道24号を北上する交通量(4,699:一般国道163号を起点とした南北の交通量から試算)に近い交通量が府道62号(犬打峠トンネル)を利用すると考えられる。(次ページ図参照)
商業施設の進出	相楽東部で 3か所程度	国道163号、木津信楽線、宇治木屋線の交差点付近にコンビニ等小売業施設を想定

主要地方道宇治木屋線周辺の交通量(昼間12時間上下合計)



2 京都府南部の働き方や暮らし方が変わる

これまで交流ができなかった北部の宇治市、城陽市、宇治田原町や京都市に職場を求める人の定住が促進される。また、転出者のUターンが期待できる。



◇暮らしの安心安全が高まる
災害時におけるライフラインが確保される。



◇雇用の場が広がる
時間距離が短縮され、宇治市、城陽、宇治田原までが通勤圏となり、働く場所が広がる。



◇公共交通が増える
複数の公共バス路線の乗り入れが期待できる。

(1)雇用の場が広がる

相楽東部地域の定住促進と人口減少への歯止めにつながる

相楽東部地域は人口の減少と少子高齢化の進行という課題を抱えている。現状では木津川市や大阪府への通勤が約40%を占めているが、犬打峠トンネル化の実現によって、宇治市、城陽市、宇治田原町、京田辺市、京都市など北方面への通勤が可能となり、右図に示す工業団地をはじめ雇用の場がひろがり、定住促進と人口減少への歯止めの効果が生まれる。



現状のままでは、地域の崩壊も懸念

相楽東部各町村の人口ビジョンによれば、2040年には和東町2,454人、笠置町739人、南山城村1,394人と、2010年の9,186人から半減すると推計されており、産業、環境、コミュニティ、財政など地域の崩壊も懸念される。

周辺の雇用の場

城陽市東部丘陵地開発
(城陽市) H35一部開業
砂利採取跡地420ha
工業、流通・商業等含む。

宇治田原工業団地
(宇治田原町) S62分譲開始
71ha
50社あまり

白坂工業団地
(城陽市・井手町) H27分譲
製造業など6社が進出

緑苑坂テクノパーク
(宇治田原町) H13分譲開始
11ha
工業 6社 商業 3区画

大住工業地域
(京田辺市) H30年度
物流拠点「プロロジスパーク」)
平成30年度の完成を目指す

久世荒内・寺田塚本地区
(城陽市) H26分譲開始
日本郵便(株)・日本郵便輸送(株)
など6企業が立地



通勤可能となれば、定住・移住促進につながる

相楽東部地域

定住につなげる環境整備

空き家の活用と移住者のマッチング支援

規制緩和を含めた農業委員会等関係機関との連携により、空き家の活用等住宅供給の促進を図り、美しい茶畑景観と自然のなかで暮らしたい家族の和東町への定住を促進する。

二地域居住の促進

和東町の豊かな農村文化など魅力的な地域資源を活かし、週末居住等の二地域居住の受け入れを促進する。

通勤手段の確保促進

主要地方道宇治木屋線の拡幅改良・トンネル化によって自動車通勤の時間短縮が図られるほか、公共交通の充実によって通勤手段の確保を促進する。

新たな工業・企業の進出促進

和東町の地域特性を活かして、茶関連や健康・ライフサイエンス関連の工業・企業のサテライト進出を促進する。

犬打峠トンネル化の効果

指標	効果予測	算出方法
通勤可能となる製造業・商業における雇用規模	約2100人	城陽市東部丘陵地開発、京田辺市大住工業地域において、商業ゾーンでは類似事例から約800人、産業ゾーン(工業)では、工業統計による平均数値から約1300人と算出。
相楽東部地域における定住促進効果	440人以上	現状(H22国勢調査)で、木津川市へ通勤する人数相当が、ほぼ類似の通勤条件となる上記の職場へ通勤しながら定住すると想定。

【バックデータ】 雇用と定住促進効果

開発計画地域における推定従業者数

自治体名	地域名	用地面積 (ha)	敷地面積 推定 (ha)	工業系 従業者数 (人)	商業系 従業者数 (人)	従業者 合計 (人)
城陽市	東部丘陵地開発	420	8	319	800	1,119
京田辺市	大住工業地域	31	24.8	987	0	987
新規				1,306	800	2,106

※平成26年工業統計に基づく1事業所あたりの敷地面積(3.23ha)、従業者数(129人)により算出した。
商業系従業者数は類似事例(イオングループ等)より算出した。

相楽東部における定住促進効果

城陽市・京田辺市等における雇用の場へは、木津川市への通勤と同程度のアクセス条件で通勤できる。
相楽東部から木津川市への通勤の現状は次のとおり。

和束町から⇒木津川市へ通勤	247人
笠置町から⇒木津川市へ通勤	87人
南山城村から⇒木津川市へ通勤	108人
合 計	442人

(2) 公共交通が増える

犬内峠トンネルが開通し、大型車の通行が容易になれば、現在宇治田原まで運行している京都京阪バスの和東町までの路線延長を望む環境を整えることができる。それにより現在和東町内を運行している奈良交通バスと連絡可能となれば、住民の日常生活の範囲が大きく拡大する。

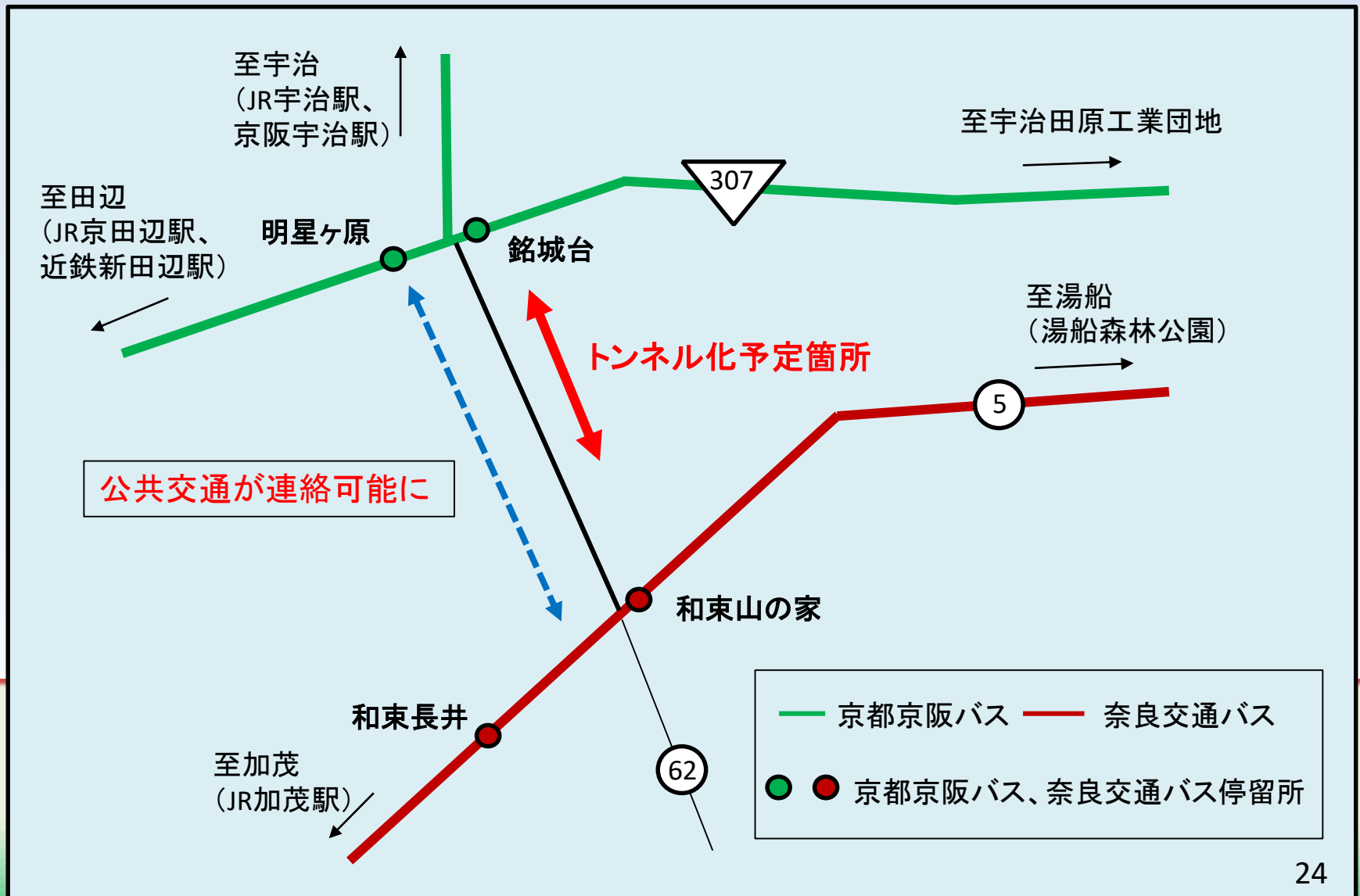
また、宇治から相楽東部に至る「お茶の京都」回廊の一部を公共交通で結ぶことで、観光の循環が良くなり、京都府南部全体の活性化も期待される。



資料提供: 京都京阪バス、奈良交通バス

	一日平均利用者数(人)(平成27年度)
京都京阪バス (宇治田原方面)	(宇治方面)宇治田原町内に入る:289 宇治田原町内より出る:258 合計:547 (新田辺方面)宇治田原町内に入る:356 宇治田原町内より出る:351 合計:707 合計:1254
奈良交通バス (和東木津線)	加茂⇒和東小杉:79.5 和東小杉⇒加茂:84.5 合計:164

公共交通 バス路線概念図



(3)暮らしの安心安全が高まる

避難、物資供給、救急・救援等の 経路確保につながる

住民生活の安心安全を高めるうえで、南海トラフ地震や平成24年8月京都府南部豪雨災害、平成25年9月台風18号豪雨災害等を踏まえた防災対策が求められている。

相楽東部地域における災害等緊急時の道路交通機能の確保が必要であり、国道163号に加えて、犬打峠トンネル化が実現すれば、宇治田原方面への重要な経路が確保される。

医療の選択肢が広がる

地域医療体制については、一次医療機関としての国保診療所と二次医療機関としての京都山城総合医療センター（木津川市）の連携があるが、犬打峠トンネル化が実現すれば、城陽方面等の医療機関へのアクセスが向上することによって、地域医療体制が充実し、定住促進につながる。

少子高齢化への対応にもつながる

相楽東部地域における少子化が進むと地域の活力が失われるなど深刻な事態を招くおそれがあるため、抜本的な少子化対策を講じていくことが喫緊の課題となっている。

安心して出産や子育てができる環境づくりと、若い世代がこの地域から流出しないよう、「職住近接」や妊娠・出産・子育て期に働きやすい雇用の場の創出が求められており、犬打峠トンネル化はこれに大きく貢献するものとなる。



3 京都府南部の一体感が生まれる

京都府南部では、これまで各市町村ごとに地域の特性に応じた様々な施策を展開してきた。観光交流においては「宇治茶の郷づくり」を通じた宇治茶ファンの拡大をめざし、地域の連携による観光振興を進めてきた。

そこで宇治木屋線犬打峠トンネルの早期完成により、京都府南部の多様な交流と連携が強化され、住民の方々の暮らしの基礎である安心・安全、地域の活性化がいっそう進むことが期待される。

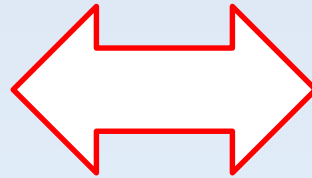
さらなる京都府南部12市町村の連携は、「お茶の京都」等による農林業や、中小企業など地域を支える産業振興と新たな観光、地域交流の推進、少子・高齢化への対応と生涯健康づくり、地域文化の承継・発展と環境保全や子どもの育成という京都府南部がめざすまちづくりの推進力となっていくだろう。



(1) 学研都市の機能の拡大

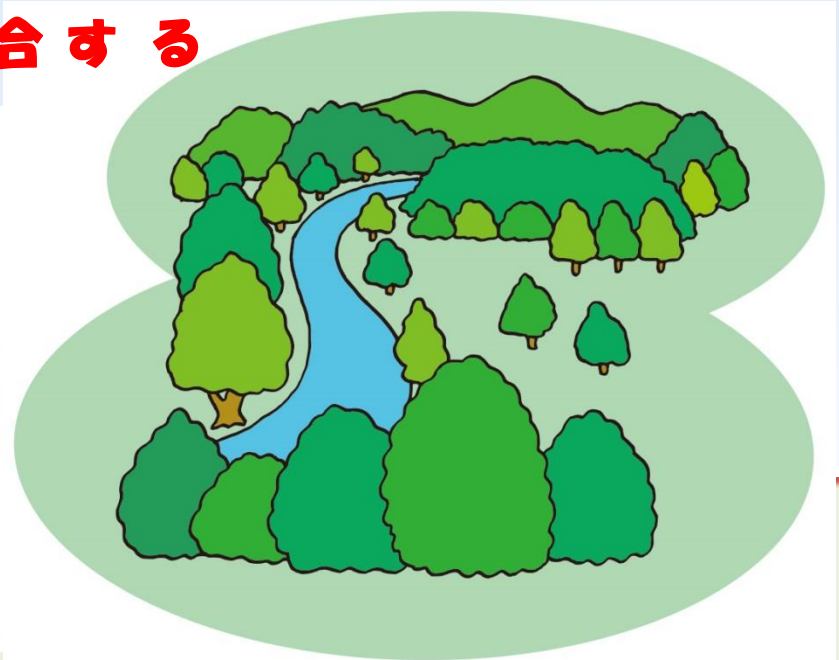
相楽東部の機能である自然環境を学研都市の住民や研究者等の癒しの場としての提供することによって、ヒューマンテクノロジー(学研都市)とネイチャーテクノロジー(相楽東部)の融合による、相互の地域価値が高まる。

ヒューマンテクノロジー
エリア(学研都市地域)



ネイチャーテクノロジー
エリア(相楽東部地域)

融合する



(2) 京都府南部の市町村のまちづくりビジョンとの整合

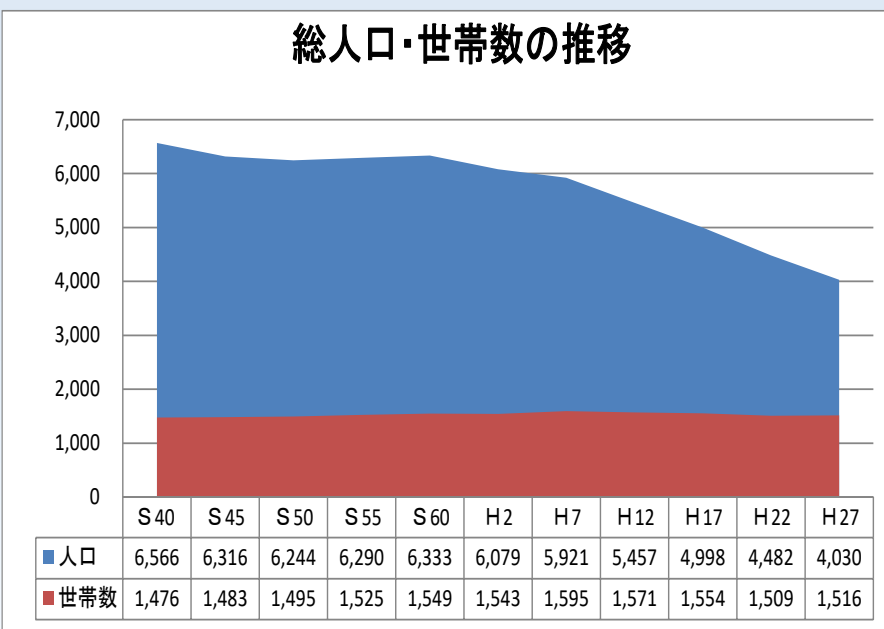
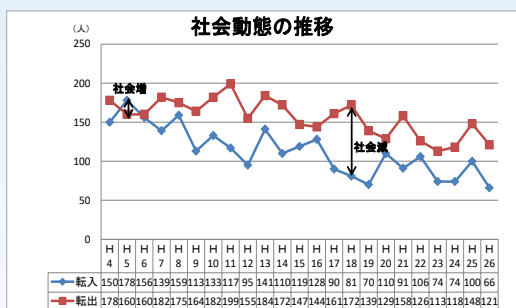
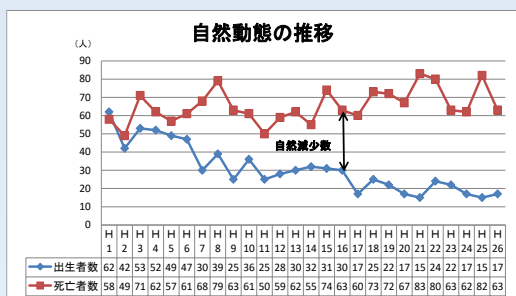
～みどりとお茶が文化をつなぎ交流する京都府南部～

自治体名	まちのめざすがた	将来人口 2025年（H37）	交流人口 H31
和束町	ずっと暮らしたい 活力と 交流 の 茶源郷 和束	3,733人	200,000人
井手町	～住んでみたい、住み続けたい～ みんなでつくる 元気 ふれあい やすらぎ 井手町	7,900人	500,000人 (H32)
宇治市	みどり 豊かな住みたい、住んでよかった都市	184,000人	7,500,000人
宇治田原町	人がつながる 未来につながる お茶 のふるさと 宇治田原 ～やすらぎ・ぬくもり・ハートのまち～	9,700人	150,000人
笠置町	世代を超えて、みんなが 交流 し 健康で安心して生活しやすく、 暮らしてみたいコンパクトなまち	1,142人	300,000人
木津川市	水・ 緑 ・歴史が薫る 文化 創造都市 ～ひとが耀き ともに創る 豊かな未来～	82,963人	1,000,000人
京田辺市	緑 豊かで健康な 文化 田園都市	78,229人	232,100人
久御山町	人輝き 心和らぐ 躍動のまち久御山 ～人・ 環境 ・協働のまちづくり～	15,343人	65,000人
城陽市	緑 と太陽、やすらぎのまち・城陽 ～活力ある21世紀のまちづくり～	76,629人	1,200,000人
精華町	人を育み未来をひらく 学研 都市精華町	37,948人	700,000人
南山城村	自然 が薫り 絆が生きる 自立するむら！ みなみやましろ	2,914人	330,000人
八幡市	自然 と歴史 文化 が調和し 人が輝く やすらぎの生活都市 ～自立と協働による個性あふれるまちづくり～	72,952人 (H32)	2,250,000人

4 資料編

(1) 和東町の現状

現在、和東町では自然動態、社会動態ともに減少傾向が続き、少子高齢化も顕著となっている。



平成27年の人口ビジョンでは、合計特殊出生率の上昇と移住・定住促進等により平成32年の定住人口を約4000人と見込むとともに、今後「二地域居住による第二定住人口」「交流人口の増大」という視点が重要と考える。

相楽東部全体の課題ともいえるこれらの視点はともに安全で十分な道(交通手段)の確保による日常生活範囲の拡大、観光客の増加、物流の円滑化等が不可欠である。

(2)和東町地方創生戦略の体系

和東町地方創生戦略の基本目標	施策の基本方向
基本目標1 茶を軸とした働く場を創る	1 農業体験と援農の推進 2 和東町茶業のリノベーションの実現 3 茶業と農林業の複合的ビジネスモデルの開発 4 新たな雇用の場の創出
基本目標2 交流人口を増やし定住につなげる	1 交流人口の拡大 2 定住の促進 3 住民と行政が一体となった交流定住促進体制づくり
基本目標3 若い世代の出会い・結婚・出産・子育ての希望をかなえる	1 「和寿香」な出会いの場づくり 2 出産・子育て支援 3 “和東町だからできる”“和東町ならではの”教育の一層の推進
基本目標4 安心な暮らしを守り、交通インフラの強化により日常生活圏の拡大を図る	1 交通インフラの整備 2 身近な拠点づくりと生活支援 3 安心・快適な暮らしを守る 4 情報発信を強化する

和東町地方創生戦略の抜粋

●基本目標1 茶を軸とした働く場を創る

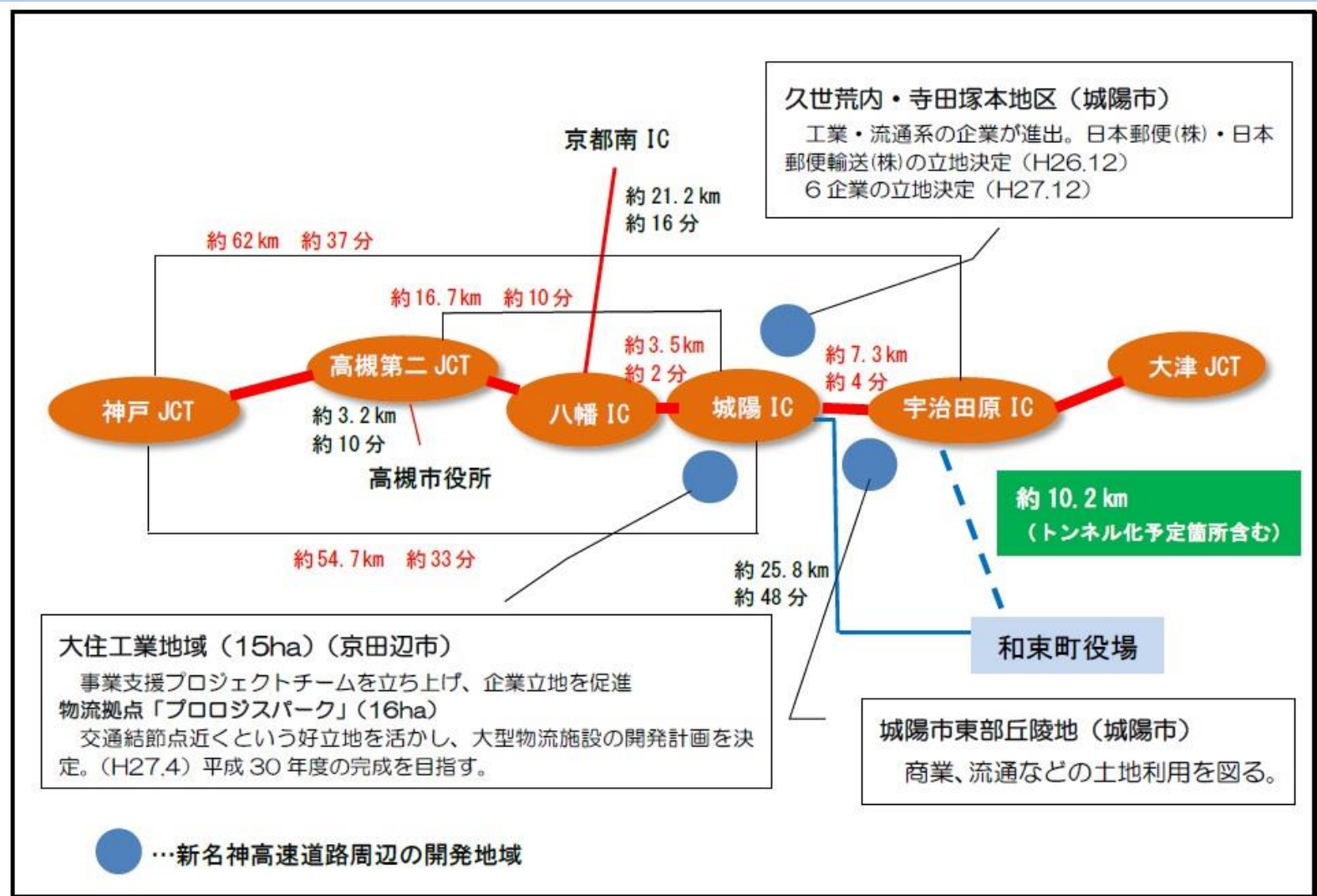
番号	具体的な施策	概要	新規
1	茶源郷交流エリア農業体験事業	和東茶カフェ周辺にあるガラスハウスを活用して、収穫体験施設の整備・運営を支援する。	
3	援農者支援と移住・定住促進事業	農繁期における援農支援のための体制整備として体験交流センター2階の空調等の整備を行う。	◎
4	農村民泊の促進	茶を生業とする暮らしを感じ、体験してもらう場として、和東の農を活かした農村民泊を促進する。	
5	和東茶のブランディング企業の設立支援	和東茶の生産から流通までを一体的に行う企業の設立を支援する。	◎
6	京都倶楽部やジェトロなどを活用した海外販路開拓への支援	京都倶楽部やジェトロ京都などのネットワークを活用した、和東茶の海外販路開拓を支援するとともに、担い手の育成に努める。	◎
7	健康・ライフサイエンス関連業界等との連携	お茶の健康効果を活かすため、健康・ライフサイエンス業界と連携した展開を検討する。	◎
8	地場製品を活かした商品開発	地場製品(茶)を活用した、多様なニーズに応える商品の研究開発を行う。	

和東町地方創生戦略の抜粋

●基本目標2 交流人口を増やし定住につなげる

番号	具体的な施策	概要	新規
1	和東町交流定住サポート事業	住民と行政が一体となり交流定住を推進するため、地域資源の掘り起こしと多彩な体験の場づくりに取り組む拠点として未来づくりセンターをテラス和豆香に置き、その運営が円滑に行われるよう支援する。	◎
2	和東ファンの会員組織づくり	町へのリピーター増加、さらには転入・定住を促進するため、会費により宿泊優待券等の特典をつける和東ファンを会員組織化する。	◎
3	地域住民による地域観光資源充実支援事業	観光に特化した安心・安全対策事業を住民と共に実施する。観光客のおもてなし事業としてトイレや、休憩場所を提供する施設整備に対する助成を行う。	◎
4	観光案内所設置事業	和東交番横の町有地を活用して観光案内所を設け、茶源郷和東をPRする。	◎
6	縁側プロジェクト事業	農家等の縁側提供や空き家の活用により、茶畑景観を和東町の新たな観光資源としてPRする。	◎
8	茶源郷和東おもてなし人材育成・観光産業創生事業	観光産業を実現する企業等に対し支援を行う。	◎
10	緑泉コース等茶畑散策道の整備とウォーキングイベントの開催	景観を活かした交流人口の拡大のため、茶畑散策道の整備等を行う。	◎
11	お茶の京都の取組と連携した観光振興	京都府で推進する「お茶の京都」構想と連動した観光振興に取り組む。	◎
12	自転車振興事業の推進	スポーツ観光によるまちづくりを進めて行くうえで、必要となる施設整備の洗い出しを行い、計画を実施に移す。	
13	近隣市町村等地域連携によるスポーツイベントの開催	平成33年のワールドマスターズに備え、近隣の町村と連携した広域のアウトドアスポーツイベントを開催する。	◎
15	都市住民の週末居住の促進	都市住民の和東町での週末居住を促進するため、体験パンフレット等によりPRする。	◎
16	インバウンド観光の推進	インバウンド観光を推進するため、多国語によるサイン、媒体等情報提供を充実させる。	◎
17	教育型観光の推進	民泊の推進等により、修学旅行などの教育型観光の受入れ体制を整備する。	◎
18	空き家の活用と移住者のマッチング支援	空き家を活用した転入増加を図るため、空き家の活用と移住相談体制の充実に取り組む。	◎

(3) 新名神高速道路完成後の概念図



〈新名神高速道路完成に伴う和東町と近隣都市との時間距離の短縮〉

	現状値	推計値	考え方
京都まで	約39分	約22分	宇治田原インター⇔京都南インター 約17分の短縮
大阪まで	約55分	約24分	宇治田原インター⇔高槻市役所 約31分の短縮
兵庫(神戸)まで	約1時間8分	約31分	宇治田原インター⇔神戸インター 約37分の短縮

※新たに開設される新名神高速道路については、時速100kmで走行するとして試算。現状及び各起点からインター開設予定地までの時間は、地図ポータルサイトNAVITIMEにより計算

(4) 和束町周辺各区間の路線図と進捗状況

大津JCT～城陽JCT・IC



事業目標及び事業進捗状況

延長(km)	独)日本高速道路保有・債務返済機構との協定上の完成予定年月
25.1	平成36年3月

事業進捗の目標(%)

	用地取得率	工事着手率
平成27年度実績	18	3
平成28年度目標	68	16
平成28年度8月末現在	24	4

城陽JCT・IC～八幡JCT・IC



事業目標及び事業進捗状況

延長(km)	独)日本高速道路保有・債務返済機構との協定上の完成予定年月
3.5	平成29年3月

事業進捗の目標(%)

	用地取得率	工事着手率
平成27年度実績	100	100
平成28年度8月末現在	100	100

八幡JCT・IC～高槻第一JCT



事業目標及び事業進捗状況

延長(km)	独)日本高速道路保有・債務返済機構との協定上の完成予定年月
10.7	平成36年3月

事業進捗の目標(%)

	用地取得率	工事着手率
平成27年度実績	21	0
平成28年度目標	60	17
平成28年度8月末現在	29	0

(5) 犬打峠トンネル開通に伴い和束町で期待される効果①

	現状値	推計値	考え方	
●観光	観光入込客数(人)	81,783 (H27)	約250,000	宇治市(H27)の3%、宇治田原町(H26)の5%の観光客が和束町に周遊すると仮定して推計
	観光消費額(千円)	111,076 (H27)	約340,000	和束町の現状の一人当たり消費額(1,358円)を観光入込客数の推計値に乗算
●茶業	出荷時間(時間)	約48分	約21分	和束町中心部(町役場)から城陽市のJA全農京都茶業市場まで、国道163号線を通るルートから、府道62号線(犬打峠トンネル)を通るルートに変更して推計
	煎茶一番茶の市場出荷が1回分早くなることによる単価への影響※	—	20~30% アップ	JA全農京都茶市場にヒアリングし、算出

※現在の茶市場の状況にもとづく算出であって、今後、犬打峠トンネル化にともなって市場開催の頻度が増すなどの変化も期待される。

(5) 犬打峠トンネル開通に伴い和束町で期待される効果②

●物流

	現状値	考え方(期待される効果)
昼間12時間交通量(台) (府道62号【宇治田原町・和束町境～木津信楽線】)	小型車:391 大型車:24 合計:415	現状では、犬打峠を含む区間の府道62号の交通量は非常に少なく、特に大型車は昼間12時間で24台となっている。一方で、その迂回路としての利用が考えられる国道163・24号はともに交通量が多く、大型車の通行も多い。犬打峠トンネルが開通し、大型車の通行が可能となれば、宇治田原町、城陽市、新名神高速道路等へ双方向の新たな物流が生まれ、大きな経済効果とともに周辺道路の渋滞解消効果も期待される。
昼間12時間交通量(台) (府道5号【宇治木屋線～国道163号】)	小型車:4385 大型車:399 合計:4784	
昼間12時間交通量(台) (国道163号【木津信楽線～国道24号】)	小型車:7450 大型車:2862 合計:10312	
昼間12時間交通量(台) (国道24号【国道163号～枚方山城線】)	小型車:11118 大型車:3045 合計:15452	

※数値は平成22年度道路交通センサス(京都府)を参照

主要地方道「宇治木屋線」改良要望箇所図

